

総合戦略

I	まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要……	96
II	人口展望と基本目標……	100
III	基本目標別成果指標……	102

I まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

1 目的

阿賀野市では、我が国の継続的発展のために国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「国の第1期総合戦略」という。）の基本的な考え方や政策5原則を踏まえ、平成27年10月に、人口減少と地域経済縮小の克服を図るための5か年の基本方針や基本目標などをとりまとめた「阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その取組を進めてきました。

国においては、国の第1期総合戦略の成果や課題等を踏まえて必要な見直しを行った「第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」」（以下「国の第2期総合戦略」という。）を令和元年12月20日に策定し、これまでの4つの基本目標に2つの横断的目標を追加することで、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正を目指すこととしています。

当市においても、国の第2期総合戦略の考え方を踏まえ、「阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和2年3月に改訂するとともに、計画期間を令和2年度まで1年間延長したところではありますが、今後も引き続き、人口減少社会に的確に対応し、市民が安心して暮らし、働き、子どもを産み育て、持続可能なまちを構築していくことを目指すため、「第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するものです。

国の第2期総合戦略における政策5原則と施策の方向性

■まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

① 自立性

地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。

② 将来性

施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。

③ 地域性

地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。

④ 総合性

施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。

⑤ 結果重視

施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。

序論

基本構想

基本計画

基本計画の
考え方の方針

安全・安心な
暮らしの実現

子どもの育成
支援の充実

高齢者や障がい者
福祉の充実

地域経済の
活性化

生活に密着した
住環境整備の促進

市民協働の
推進

信頼される
行政経営

総合戦略
（地方創生）

国土強靱化

資料編

■施策の方向性

基本目標1：稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

基本目標2：地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断的な目標1：多様な人材の活躍を推進する

横断的な目標2：新しい時代の流れを力にする

【4つの基本目標に向けた取組を実施するにあたっての第2期における国の新たな視点】

- ① 地方へのひと・資金の流れを強化する（関係人口⁽¹⁾、企業・個人の寄附・投資）
- ② 新しい時代の流れを力にする（Society5.0⁽²⁾の実現、SDGs⁽³⁾の浸透・主流化）
- ③ 人材を育て活かす（人材の掘り起こし・育成・活躍支援）
- ④ 民間と協働する（行政主体の取組に加え、民間主体の取組と連携強化）
- ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる（女性・高齢者・外国人・障がい者など）
- ⑥ 地域経営の視点で取り組む（地域の経済社会構造を俯瞰した地域マネジメント）

用語解説

(1) 関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域や地域の人々と継続的に多様な形で関わる人をいいます。

(2) Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させることにより、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会のことをいいます。

(3) SDGs (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)

平成27年9月の国連サミットにて採択された2030年を年限とする世界全体の達成目標をいいます。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17のゴールとその下に具体的な169のターゲットが設定されています。

2 計画の構成と期間

市の人口動態、2040年、2060年における長期の人口展望を踏まえた基本の方針と取組の方向性等を整理した「第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、その実現に向けた実施事業の展開を記載した「実施計画」で構成されています。

なお、「実施計画」は、地方創生推進交付金を始めとした国の財政措置や各種規制緩和等の状況変化に柔軟に対応できるよう別冊として策定するとともに、毎年の進捗結果をもとに継続可否の判断、進め方の見直しを実施します。

「第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間は、阿賀野市総合計画との連動から、令和3年度から令和6年度までの4年間とします。

■計画の構成と期間

	～R2年度 現計画 (前期基本計画) 期間	R3～R6年度(4年間) 現計画 (後期基本計画) 期間	R7年度～(予定) 次期総合計画期間
阿賀野市総合計画			
阿賀野市 まち・ひと・しごと総合戦略	第1期	第2期	第3期
阿賀野市 まち・ひと・しごと総合戦略 <実施計画>	必要に応じて、毎年見直し(事業の追加等)		

3 総合計画との関係

総合計画は、市の総合的かつ計画的な行政運営の指針を示し、長期的なまちづくりの展望を市民と共有する最上位計画です。一方、まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少克服と地方創生を目的としているため、総合計画と比較すれば、その政策範囲は限定されます。このため、本計画は、阿賀野市総合計画を踏まえたうえで、まち・ひと・しごと創生に資する特定の施策に特化した戦略として位置付けるとともに、総合計画の「成果指標」と総合戦略の評価指標である「基本目標」や「KPI(Key Performance Indicator)」との整合を図ることで、総合計画と一体的に推進していきます。

阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の項目

政策名	施策名	基本事業名	行政 改革	地方 創生	国土 強靱化
3 高齢者や 障がい者福祉 の充実	1 高齢者福祉の充実	1 介護予防の推進		●	
		2 医療介護の連携		●	
		3 認知症施策の推進			
		4 日常生活の支援			●
		5 介護サービスの質と量の充実			●
	- 施策の総合推進				●
		1 自立支援サービスの推進		●	●
		- 施策の総合推進			●

※総合計画の中で示している基本事業のうち、まち・ひと・しごと創生に資する基本事業を目指すべき将来の方向として定める4つの基本目標に沿って体系付けしたものが本計画となります。

4 計画の進捗管理

「第2期阿賀野市まち・ひと・しごと総合戦略」では、国の第2期総合戦略や阿賀野市の特性を勘案した上で、国が示す施策の方向性（4つの基本目標と2つの横断的目標）を踏まえた基本目標を設定します。

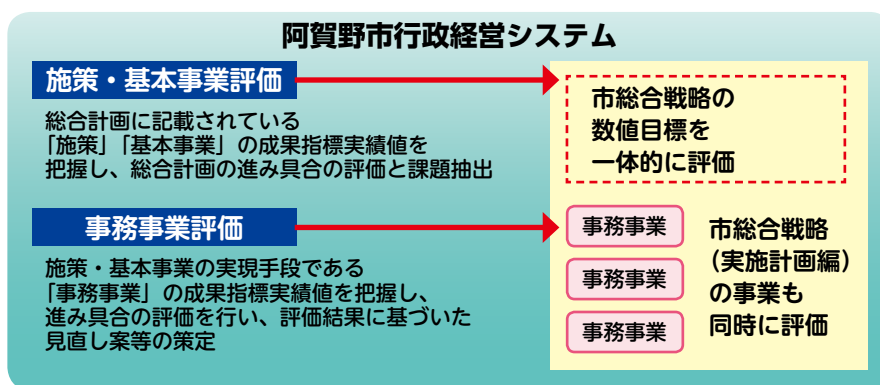
本計画には、基本目標及び基本目標ごとの目指す姿に係る成果を客観的に評価するための成果指標を設定します。本計画を実現するための実施計画にも、事業毎に成果指標または活動進捗を示す活動指標を設定します。

これらの成果指標は、原則として、総合計画における施策、基本事業、事務事業の成果指標を準用することとし、総合計画と併せて一体的な進捗管理を行います。

進捗管理は、阿賀野市行政経営システムと連動し、施策・基本事業評価や事業評価の活用を予定しています。

※成果指標、活動指標は、国が設定を求める重要業績評価指標【K P I : Key Performance Indicators】と同意義です。

■進捗管理イメージ



5 計画のフォローアップ

「第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本として、新潟県におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略として位置付けられている「新潟県総合計画」との整合を十分図りながら、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を図るための施策を推進することとしますが、施策の達成状況や社会情勢の変化、「地域経済分析システム」等を活用した詳細な経済分析の結果等を踏まえ、必要に応じて戦略の見直しを行うこととします。

Ⅱ 人口展望と基本目標

1 人口展望

平成27年に策定した「阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、阿賀野市の人口の将来展望を下記のように設定しています。

平成30年に発表された国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の将来推計に準拠して推計を行った場合、阿賀野市における2060年の推計人口は、20,328人となります。これは平成27年策定時に活用した社人研の将来推計に準拠した推計値（24,229人）より3,901人の減少となり、人口減少のスピードが速まっています。

今回の計画策定にあたっては、平成27年策定時の将来展望を維持することとしますが、平成27年策定時の将来展望の達成に向けては、合計特殊出生率の改善や若者の転出抑制など、さらなる努力が必要な状況となっています。

2040年 36,049人（社人研準拠推計値(H30)より +5,277人）
2060年 30,021人（社人研準拠推計値(H30)より +9,693人）

<人口の将来展望の仮定値（平成27年策定時）>

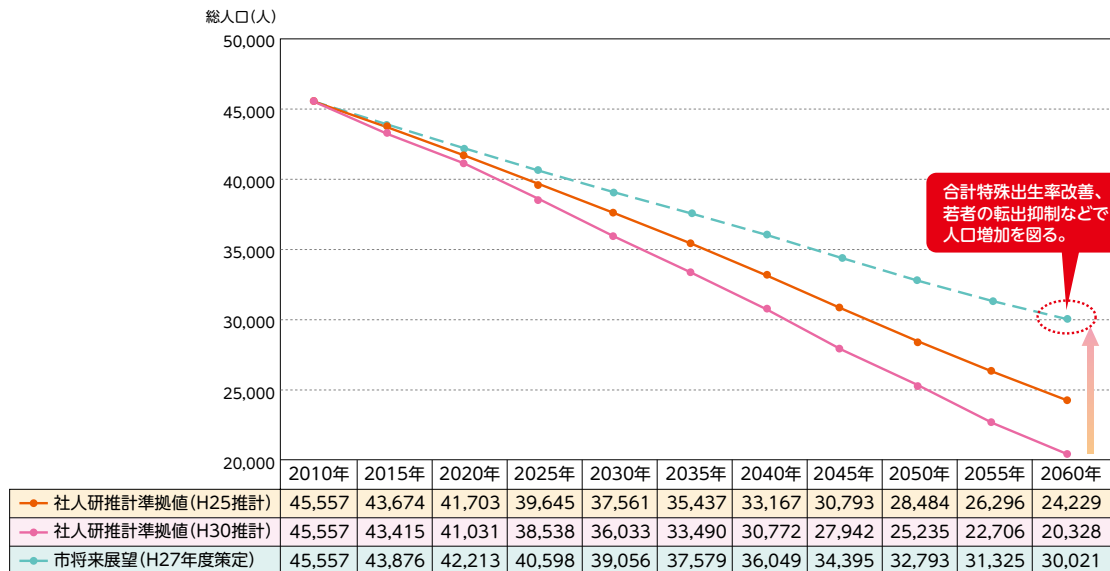
◆合計特殊出生率（国の長期ビジョンに準拠）

令和12（2030）年 1.80程度に改善
 令和22（2040）年 2.07程度に改善

◆移動率（転出入）

10歳～24歳等の若年層の転出を、
 現在より35%程度抑制の実現

■阿賀野市の人口推移と将来展望



■阿賀野市の人口推移と将来展望（年齢3区分）

区分	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
総人口	45,557人	42,213人	39,056人	36,049人	32,793人	30,021人
年少人口 (0～14歳)	5,831人 12.8%	4,775人 11.3%	4,751人 12.2%	4,961人 13.8%	4,720人 14.4%	4,285人 14.3%
生産年齢人口 (15～64歳)	27,762人 60.9%	23,559人 55.8%	20,582人 52.7%	18,363人 50.9%	16,539人 50.4%	15,410人 51.3%
老年人口 (65歳以上)	11,964人 26.3%	13,878人 32.9%	13,722人 35.1%	12,725人 35.3%	11,535人 35.2%	10,326人 34.4%

※2010年は、年齢別人口の規模に応じて年齢不詳人口を比例按分しているため、「国勢調査」の値とは異なります。

2 基本目標

基本的な考え方

市民が安心して暮らし、働き、子どもを産み育て、持続可能なまちを構築していくために、本市の持つ特性・魅力を生かし、人口、経済、地域社会の課題に一体的・持続的に取り組んでいきます。

基本的方向

基本目標 1

子育て環境日本一のまちづくり

- 子どもたちがたくさん暮らすまちづくりを進めるため、結婚・子育て支援の充実を図ります。
- 子どもたちが生きる力を育むため、魅力ある学校で楽しく学べる環境を整備します。

基本目標 2

健康寿命日本一のまちづくり

- 高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を送れるよう、介護予防など高齢福祉の充実を図ります。
- 心身の健康が保たれ元気に生活できるよう、市民による自発的な健康づくりへの取組を推し進めます。

基本目標 3

安全・安心な暮らしの実現

- 必要な時に、必要な医療を受けられるよう、地域医療体制の充実を図ります。
- 災害に対して、不安なく暮らせるよう、防災減災体制の充実を図ります。

基本目標 4

地域経済の活性化

- 農業経営の収益を向上させ、農業産出額、農業所得の増加を図ります。
- 市内総生産額の増加により雇用を創出し、地域経済の活性化を図ります。
- 観光客入込数及び観光消費額の増加により、観光産業の活性化を図ります。
- 各地区の特性を踏まえて、バランスのとれた土地の有効活用を図ります。
- 市民生活における移動の利便性向上のため、公共交通の充実を図ります。
- 市民・行政の協働によるまちづくりを推進するため、市民によるまちづくり活動を支援します。
- 阿賀野市の魅力を発信し、移住・定住者の増加を図ります。
- 情報通信技術等の利活用を通じて、市民生活の利便性の向上を図ります。

(横断的目標 1)

多様な人材の活躍を推進する

- 性別・障がいの有無・年齢に関わらず、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を目指します。

(横断的目標 2)

新しい時代の流れを力にする

- 学力向上や農業技術向上、市内外の公共交通の利便性の向上など、幅広い分野で未来技術を活用します。

Ⅲ 基本目標別成果指標

基本目標1 子育て環境日本一のまちづくり

■基本目標の成果指標

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合	73.6%	80.0%
この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合	96.1%	97.0%
0歳から14歳までの人口	4,577人	4,565人
合計特殊出生率	1.31	1.63
全国学力・学習状況調査結果の標準化得点 (児童)	98	100
全国学力・学習状況調査結果の標準化得点 (生徒)	98	100
学校生活が楽しいと感じる児童の割合	87.1%	95.0%
学校生活が楽しいと感じる生徒の割合	83.9%	90.0%



■戦略の名称と成果指標

戦略 No.01-01 妊産婦・乳幼児・保護者の交流と不安軽減

【目指す姿】

いつでもほかの親子と交流することや子どもを遊ばせることができるようになっています。専門家による育児相談や産後に必要なケアを受けることができるようになっています。妊産婦、保護者同士の交流を通じて出産や子育てに関する不安が軽減されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合	62.1%	70.0%
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	72.4%	90.0%
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	88.5%	95.0%
妊娠・出産の支援に満足している人の割合	94.8%	100%

総合計画施策体系

02-01-01

戦略 No.01-02 多様な保育サービスの充実

【目指す姿】

延長保育、一時預かり保育、病児保育など、保護者のニーズに応じた保育サービスを受けられるようになっています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
特別保育の受入れができなかった人数	13人	13人

総合計画施策体系

02-01-02

戦略 No.01-03 放課後の多様な過ごし方の提供

【目指す姿】

放課後、子どもが安全で有意義な時間を過ごせる環境が整っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人
放課後の子どもの過ごし方に不満を持っていたり、困っている保護者の割合	36.8%	25.0%
総合計画施策体系		02-01-03

戦略 No.01-04 母子の健やかな成長の支援

【目指す姿】

母子のこころとからだの健康づくり、病気の早期発見・早期治療のための健康管理を適切に行っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
妊婦健診未受診での出産数	0件	0件
乳幼児健診平均受診率	98.4%	100%
むし歯がない3歳児の割合	90.8%	93.0%
総合計画施策体系		02-01-04

戦略 No.01-05 保護者負担の軽減

【目指す姿】

子育て期にある保護者の経済的負担が軽減されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
子どものための経済的支援の助成総額	54,251千円	-
総合計画施策体系		02-01-05

戦略 No.01-06 結婚意識の向上

【目指す姿】

若い世代への結婚のプラスイメージの発信や出会いの機会の創出により、結婚に向け前向きな意識が醸成されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
婚姻率(人口千人当たり)	3.0	3.9
総合計画施策体系		02-01-06

戦略 No.01-07 確かな学力の向上

【目指す姿】

分かりやすい授業により児童生徒の理解度が高まっているとともに、家庭学習が習慣化しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
授業が分かる児童の割合	82.0%	88.0%
授業が分かる生徒の割合	76.9%	80.0%
1日1時間以上の家庭学習をしている児童の割合	69.0%	85.0%
1日1時間以上の家庭学習をしている生徒の割合	57.6%	70.0%
授業でコンピュータなどのICTを使用している割合(児童)	6.7%	100%
授業でコンピュータなどのICTを使用している割合(生徒)	2.6%	100%

総合計画施策体系

02-02-01

戦略 No.01-08 こころとからだの健全育成

【目指す姿】

「豊かな人間性」「健やかなからだ」の調和がとれています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童の割合	57.8%	70.0%
新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る生徒の割合	52.5%	60.0%
不登校率(児童)	0.96%	0.30%
不登校率(生徒)	3.83%	3.15%
基本的な生活習慣ができている児童の割合	91.2%	92.0%
基本的な生活習慣ができている生徒の割合	89.9%	92.0%

総合計画施策体系

02-02-02

戦略 No.01-09 教育環境の確保

【目指す姿】

安全・安心で快適な学習環境で学ぶことができます。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数	0件	0件
学校におけるセキュリティ管理に関する事故・トラブル件数	0件	0件
心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数(計画期間内累計)		-

総合計画施策体系

02-02-03

戦略 No.01-10 安全な学校生活・通学環境の確保

【目指す姿】

安全な学校生活を送ることができるとともに、安全な通学環境が確保されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
学校生活に起因する事故件数（災害共済給付金請求件数）	294件	210件
通学環境に関する満足度	90.5%	90.5%
総合計画施策体系		02-02-04

戦略 No.01-11 学校・家庭・地域の協働体制の推進

【目指す姿】

学校・家庭・地域が連携した特色ある教育を実施する体制が整っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数	1,432人	1,500人
総合計画施策体系		02-02-05

戦略 No.01-12 経済的負担の軽減

【目指す姿】

経済状況に関わらず、義務教育を受けられるようになっています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
就学援助対象項目	12項目	13項目
総合計画施策体系		02-02-06

戦略 No.01-13 故郷への愛着意識の醸成

【目指す姿】

生まれ育った故郷への愛着意識が醸成されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
阿賀野市に愛着を持っている児童の割合	96.1%	97.0%
阿賀野市に愛着を持っている生徒の割合	87.1%	90.0%
地域行事に参加している児童の割合	86.2%	90.0%
地域行事に参加している生徒の割合	55.9%	60.0%
学校給食における地場産農産物使用率	19.0%	30.0%
総合計画施策体系		02-02-07

基本目標 2 健康寿命日本一のまちづくり

■基本目標の成果指標

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合	81.2%	82.2%
人口一人当たりの医療費（国民健康保険）	27,777 円	27,665 円
平均自立期間	男 78.3 歳 女 83.7 歳	男 79.6 歳 女 84.0 歳
人口千人当たりの 15 歳から 64 歳までの病気等での死亡率（ケガ、事故を除く。）	2.3	1.9
人口 10 万人当たりの三大死因での死亡率（悪性新生物）	392.7	351.0
人口 10 万人当たりの三大死因での死亡率（心疾患）	184.5	183.7
人口 10 万人当たりの三大死因での死亡率（脳血管障害）	132.5	128.1



■戦略の名称と成果指標

戦略 No.02-01 介護予防の推進

【目指す姿】

介護予防や社会参加によって、いつまでも元気に生活を送っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
要支援認定の新規該当者の平均年齢	81.4 歳	82.3 歳
社会参加・交流している高齢者の割合（サロン、老人クラブ）	37.6%	40.0%

総合計画施策体系

03-01-01

戦略 No.02-02 望ましい食習慣の確立

【目指す姿】

食の大切さを理解し、望ましい食習慣を身につけている市民が増えています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
高血圧症の受療件数	1,379 件	1,200 件
適正な体重を維持していない市民の割合（40 歳代から 60 歳代までの男女の肥満者の割合）	24.8%	24.2%

総合計画施策体系

01-02-01

戦略 No.02-03 運動・身体活動の推進

【目指す姿】

健康と運動に関する意識が高まり、日常的に運動する市民が増えています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合	22.6%	34.0%
体操を定期的実施している市民の割合	30.5%	40.0%
総合計画施策体系		01-02-02

戦略 No.02-04 禁煙と適正飲酒の推進

【目指す姿】

たばこを吸わない市民が増えています。

多量飲酒による健康への害を理解し、適正飲酒を守っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
習慣的に喫煙している市民の割合	16.9%	14.0%
適正飲酒を守っている市民の割合	71.9%	80.0%
総合計画施策体系		01-02-03

戦略 No.02-05 こころの健康づくりの推進

【目指す姿】

市民が悩んだ時に孤立せず、家族や地域の支え合いで、こころの健康を保っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
悩みを相談できる人や場所を持っている市民の割合	89.6%	90.0%
自殺者数	8人	7人
総合計画施策体系		01-02-04

戦略 No.02-06 健（検）診受診率の向上

【目指す姿】

がん、脳卒中、糖尿病等の重症化を予防するため、特定健診・特定保健指導やがん検診を受診する市民が増えています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
特定健診受診率	42.7%	60.0%
特定保健指導実施率	56.7%	60.0%
各種がん検診の受診率（69歳以下）【肺】	45.2%	50.0%
各種がん検診の受診率（69歳以下）【胃】	24.9%	60.0%
各種がん検診の受診率（69歳以下）【大腸】	41.5%	50.0%
各種がん検診の受診率（69歳以下）【乳】	62.3%	60.0%
各種がん検診の受診率（69歳以下）【子宮】	46.1%	50.0%
総合計画施策体系		01-02-05

戦略 No.02-07 歯と口腔の健康づくりの推進

【目指す姿】

歯や口腔の健康が全身の健康の保持増進につながることを意識して、歯・口腔の健康づくりに取り組む市民が増えていきます。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合	30.0%	30.0%
歯間部清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合	40.0%	42.0%
	総合計画施策体系	01-02-06

基本目標3 安全・安心な暮らしの実現

■基本目標の成果指標

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合	81.2%	82.2%
介護サービスの満足度	53.4%	55.0%
市内の医療機関に従事する医師数	40.4人	40.4人
災害死傷者数	0人	0人



■戦略の名称と成果指標

戦略 No.03-01 医療介護の連携

【目指す姿】

医療機関と介護施設等の連携により、一人ひとりの状態に応じたサービスを円滑に提供する体制が整っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
介護保険利用者における医療と介護連携の満足度	68.8%	75.0%
あがの市民病院に設置した医療介護相談窓口の相談件数	73件	130件

総合計画施策体系

03-01-02

戦略 No.03-02 介護サービスの質と量の充実

【目指す姿】

希望する介護サービスを利用しながら生活を送っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
入所待機者数 (要介護度3以上)	89人	50人

総合計画施策体系

03-01-05

戦略 No.03-03 あがの市民病院の機能強化

【目指す姿】

地域の中核病院として機能しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
外来患者数	100,025人	95,280人
病床利用率	78.5%	80.0%
あがの市民病院における紹介率	23.7%	30.0%

総合計画施策体系

01-01-01

戦略 No.03-04 各医療機関の機能分担の強化

【目指す姿】

日常の健康管理のために、身近な市内にかかりつけ医を持っています。
休日・夜間・救急の診療体制が整備・維持され、安心して暮らしています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
市内にかかりつけ医を持っている市民の割合	52.3% (令和2年度)	60.0%
休日・夜間診療体制を知っている市民の割合	65.8%	80.0%
総合計画施策体系		01-01-02

戦略 No.03-05 防災減災意識の向上

【目指す姿】

災害に備える意識が高まっています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
災害に備え家庭で実践している事項数(全15項目)	3.9項目	8.0項目
防災訓練参加者数(市及び自主防災組織等の訓練)	989人	1,500人
総合計画施策体系		01-04-01

戦略 No.03-06 地域防災力の強化

【目指す姿】

住民や自治会、自主防災組織等の連携による防災活動が活性化し、地域の防災力が強化されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
自主防災組織に加入している世帯の割合	87.2%	89.0%
防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数	22	93
避難行動要支援者避難支援個別計画のある自主防災組織及び自治会数	24	140
総合計画施策体系		01-04-02

戦略 No.03-07 防災情報伝達力の向上

【目指す姿】

災害時の人的被害を軽減するための情報が確実に届き、避難が遅れないようにします。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
各種災害情報ツール登録市民数	6,253人	14,000人
総合計画施策体系		01-04-03

戦略 No.03-08 災害時対応力の向上

【目指す姿】

災害時の対応力が強化されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
自治体及び事業者等との災害時応援協定締結数	43	45
県の備蓄指針に対する充足率	100%	100%
職員を対象とした訓練等の実施回数	3回	6回
総合計画施策体系		01-04-04

戦略 No.03-09 治水対策の推進

【目指す姿】

大雨等による家屋の浸水被害がなくなり、安心して暮らすことができます。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
床上・床下浸水以上の被害に遭った家屋数	0棟	0棟
総合計画施策体系		01-04-05

基本目標 4 地域経済の活性化

■基本目標の成果指標

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
農業産出額（合計）	8,700 百万円	9,000 百万円
製造品出荷額等	122,557 百万円	142,574 百万円
市内総生産額（第2次・第3次産業）	146,166 百万円	153,138 百万円
観光客入込数	1,208,159 人	1,600,000 人
観光客1人当たりの消費額（宿泊）	16,554 円	20,000 円
観光客1人当たりの消費額（日帰り）	7,480 円	9,000 円
住宅、商業、工業、農業、公園などのバランスがとれた土地活用が行われていると思う市民の割合	38.3% (令和2年度)	50.0%
公共交通機関の満足度	49.4%	65.0%
市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合	51.9%	55.0%
コミュニティ活動に参加している市民の割合	53.8%	60.0%
効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合	45.9%	70.0%
総合計画の施策成果指標の向上割合	36.5%	100%



■戦略の名称と成果指標

戦略 No.04-01 収益を向上させる農業経営

【目指す姿】

農業者が収益の高い園芸作物の生産・販売、デジタル技術の活用によるコスト低減、収益の高い販路開拓に取り組んでいます。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
農業産出額（野菜・果実・豆類・いも類・花き）	630 百万円	1,000 百万円
スマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組む農業者（計画期間内累計）		140 人
市内農産物の直売・店舗販売額（農産物直売所販売高）	124 百万円	500 百万円
圃場整備率	24.1%	27.1%

総合計画施策体系

04-01-01

戦略 No.04-02 デジタル化の推進

【目指す姿】

時代の変化に対応した農業経営を行うために、農業者がスマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組んでいます。

デジタル化を推進させることで、企業の生産性が向上しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
スマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組む農業者（計画期間内累計）		140人
労働生産性が向上している企業の割合	29%	40%

総合計画施策体系

04-01-02、04-02-02

戦略 No.04-03 意欲のある農業者の育成

【目指す姿】

市民を雇用する農業法人や新規就農者が増えています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
農業法人数	32 法人	42 法人
新規就農者数（計画期間内累計）		20人

総合計画施策体系

04-01-03

戦略 No.04-04 地域循環の創出

【目指す姿】

地元企業等の購入により、生乳・園芸作物・たい肥が安定的に生産・販売されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
農業産出額（生乳）	630 百万円	690 百万円
農業産出額（野菜・果実・豆類・いも類・花き）	630 百万円	1,000 百万円
たい肥散布面積	635ha	700ha

総合計画施策体系

04-01-04

戦略 No.04-05 魅力的な働き場の維持・増加

【目指す姿】

市民にとって魅力的な働く場が増えています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
市内工業団地の事業所で働いている市民の数	1,293人	1,552人
市内工業団地の事業所で働いている市民の割合	34%	40%
法人設立件数	19件	23件

総合計画施策体系

04-02-01

戦略 No.04-06 域内調達の増加

【目指す姿】

域内調達を増加させ、事業所の売上が増加しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
域内調達が増加している企業の割合	14%	40%
総合計画施策体系		04-02-03

戦略 No.04-07 事業所の経営安定化

【目指す姿】

市事業所の経営安定が図られています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
法人税割を納めている事業所数	421 事業所	472 事業所
プッシュ型メディア配信「事業者支援」の登録者数	0 者	500 者
総合計画施策体系		04-02-04

戦略 No.04-08 情報発信の強化

【目指す姿】

時代の変化に対応した情報発信が効果的に行われています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
市及び市観光協会のSNSの登録者数	1,060 人	3,000 人
観光協会ホームページアクセス件数	27,425 件	44,000 件
総合計画施策体系		04-03-01

戦略 No.04-09 宿泊客数の増加

【目指す姿】

観光消費額の高い宿泊者が増加しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
五頭温泉郷宿泊客数	118,562 人	126,000 人
宿泊施設の連泊（2泊以上）利用者数	5,201 人	5,500 人
総合計画施策体系		04-03-02

戦略 No.04-10 観光関連事業者の連携強化

【目指す姿】

観光客が市内を回遊することで、観光消費額(消費回数)が増加しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
観光関連事業者の連携事業数	2 事業	7 事業
総合計画施策体系		04-03-03

戦略 No.04-11 交流拠点としての「道の駅（仮称）あがの」の推進

【目指す姿】

市民生活の利便性の向上が図られ、市内外の人との交流が盛んになる拠点づくりが進められています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
「道の駅（仮称）あがの」の進捗率（～R 4）	6%	100%
総合計画施策体系		05-01-01

戦略 No.04-12 適正な開発の促進

【目指す姿】

用途地域内の未利用地が活用されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合	40.9%	上げる
年間農地開発面積に占める用途地域内開発面積の割合	22.5%	上げる
総合計画施策体系		05-01-02

戦略 No.04-13 市内の交通手段の確保

【目指す姿】

市内の交通手段が確保され、利用しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
市内移動の公共交通機関の満足度	52.4%	70.0%
市営バスの年間総利用者数	94,950人	94,950人
総合計画施策体系		05-03-01

戦略 No.04-14 市外への交通手段の確保

【目指す姿】

市外への交通手段が確保され、利用者の利便性が向上している。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
市外移動の公共交通機関の満足度	46.3%	60.0%
水原駅の1日平均乗者数	767人	767人
市外バス（新潟行き路線バス・高速バス）の1日平均利用者数	453.5人	453.5人
総合計画施策体系		05-03-02

戦略 No.04-15 自治会活動の活性化

【目指す姿】

自治会活動が活発に行われています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R 6)
活動が困難になっている行事がある自治会の割合	42.3%	35.0%
総合計画施策体系		06-01-01

戦略 No.04-16 市民活動の活性化

【目指す姿】

地域活動や社会貢献活動を担う人材が育ち、コミュニティ活動を活発に行っています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
市民活動団体・ボランティア活動団体登録数	117 団体	140 団体
ボランティア活動や市民協働活動に取り組む市民の割合	7.8%	15.0%
総合計画施策体系		06-01-02

戦略 No.04-17 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

【目指す姿】

地域通貨(ポイントカード)の流通により、地域が活性化しています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
加盟店におけるポイントカードの利用件数	29,198 件	40,000 件
地域ポイントカード加盟店数	31 店	200 店
総合計画施策体系		06-01-03

戦略 No.04-18 移住・定住の促進

【目指す姿】

阿賀野市の魅力が発信され、移住・定住が促進されています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
移住・定住ホームページアクセス数	44,331 件	50,000 件
15 歳から 64 歳までの転出超過数	249 人	150 人
総合計画施策体系		07-01-06

戦略 No.04-19 行政のデジタル化の推進

【目指す姿】

情報通信技術等の利活用により、市民生活の利便性の向上と行政運営の効率化が図られています。

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
ICT等を活用した住民サービス事業数及び業務改善件数(計画期間累計)	-	20 件
総合計画施策体系		07-01-05

横断的目標 1 多様な人材の活躍を推進する

■横断的目標の成果指標

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合	28.2%	22.0%
就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数	23人	28人
社会参加・交流している高齢者の割合（サロン、老人クラブ）【再掲】	37.6%	40.0%

横断的目標 2 新しい時代の流れを力にする

■横断的目標の成果指標

成果指標名称	基準値	目標値 (R6)
授業でコンピュータなどのICTを使用している割合（児童）【再掲】	6.7%	100%
授業でコンピュータなどのICTを使用している割合（生徒）【再掲】	2.6%	100%
スマート農業やデジタル技術を活用した経営に取り組む農業者（計画期間内累計）【再掲】		140人
労働生産性が向上している企業の割合【再掲】	29.0%	40.0%
ICT等を活用した住民サービス事業数及び業務改善件数（計画期間内累計）【再掲】	-	20件

